

2023年度

こどもニュース

No. 15

12/15 発行



【本当のクリスマス】

私達、弱い人間の罪を全て背負い、十字架にかかるために生まれてきてくださったイエス様のお誕生を喜び、同時にご自分のたった一人の御子であるイエス様を私達人間の世界に与えてくださった神様に感謝する本当のクリスマスを迎えます。

世界中で華やかな飾りに彩られ、楽しげなクリスマスソングが流れるこの時期ですが2000年以上前、ユダヤの人々が「待って、待って、待ち望み」ようやく迎えた最初のクリスマスは大きな喜びに包まれたものでありながらも、電飾などの華やかさも豪華さもない、暖房さえもない寒い馬小屋で、とっても静かなものだったのではないのでしょうか。深い喜びは、時には静かに身体の奥底から立ち上がってくることがあるように思います。

様々な状況に一喜一憂し、振り回されてしまう私達はとても弱い存在で、今なお争いや戦いを収めることすらできないでいますが、神様はいつも変わらずそばにいてくださいます。そのことを覚え、本当のクリスマスと共に喜び、祈りましょう。



【待ち望む】

一か月にわたるアドベントの期間をご一緒に過ごさせていただきました。多くの準備とクリスマスを迎える喜び。保護者の皆さまに心から感謝いたします。父母の会を通してのクリスマス準備、証しの会、聖書を読む会、賛美の会、クリスマス讃美歌の練習、園芸の会のリース飾り、ハンドメイドさんの飾り、手話の会の学び、くるみスタッフ、また様々な保育の場面

でのお手伝い父さん母さん、そして5日には驚くほど多くの保護者の皆様が寒い中、落ち葉掃きなどのご奉仕をしてくださいました。こういった保護者の皆様のお働きは、50年という長い園の歴史の中で脈々と受け継がれていることですが、どの活動も始まりは歴代の保護者の皆様の「園と共にやりたい!」というお気持ちから始まり、動いてくださった業であります。毎年の様に書いていますが、この園は皆様に支えられている幸いに包まれていると実感しています。本当に感謝いたします。

こども達も礼拝で4本のろうそくに一本ずつ灯が灯されるのを見てきました。1週間で1本、というスピードは現代社会の中ではなんとゆっくりと感じられることでしょう。普段の生活ではそのような時間の区切りで何かを待つことは少ないのではないかと思います。だからこそ、こども達は礼拝の度に灯されるろうそくの明かりを「今日は2本」「今日は3本だね」と固唾をのんでじっと見ていました。1本、1本と増えていくろうそくの明かりを黙って見つめるその姿に2000年以上前のユダヤの人々が救い主の誕生を「待ち望む」姿が重なります。

幸いなことに現代に生きる私達は当時のユダヤの人々がいつ生まれてくるのか知らなかった救い主イエス様のお誕生を知っています。そのことに感謝してクリスマスを迎えたいと思います。



【贈る喜びを感じる「クリスマス」プレゼント】

クリスマスからお正月へと、この時期「もらう」ことの多いこども達ですが、園では大好きな人に心をこめて贈る喜びを知ってほしいと考え、おうちの人へのプレゼントを作りました。心をこめて作ってきた過程はそれぞれの学年のあつまりの記事をお読みください。大好きな人に喜んでいただける幸せ、贈る喜びを経験できる時となりますように。

【2学期もありがとうございました!】

この時期、各教会ではクリスマス礼拝やお祝いの会を行います。この機会に是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

2学期を皆様と歩ませていただいたこと、お支えいただいたことに心からお礼を申し上げます。皆様の年末年始が神様の祝福に満たされた温かな時間となりますようお祈りいたします。



児玉 芽 

年長さんからのプレゼントは…

ボールスカート です★

☆個性あふれるクリスマスカード☆



贈る相手を想い、気持ちを込めてプレゼントを作ることができる年長さん。丁寧に時間をかけてカードづくりに取り組む子がたくさんいました。「イエスさまのおたんじょうびおめでとう」「メリークリスマス!」「だいすき」など言葉で表現する子もいれば、雪だるま、雪の結晶などクリスマスや冬をイメージして、カードいっぱい絵を描く子もいました。お友達が書く文字に興味を持ち、「ぼくも書きたい!」と保育者に伝えに来てくれる子、隣の席の子が描く絵をチラッと見て模倣する子など、お互いに刺激を受けながら楽しんで作った素敵なカードです。



☆どんなボードゲームにしようかな☆

ドロケイや騎馬戦など勝敗を決めるルール遊びを楽しむことができる年長さん。おうちの方と一緒に楽しめる物を…と思い、木製ボードゲームを作ることになりました。始めに紹介をすると、「やったー!作りた〜い!」と意欲的な声。「ゲーム」という言葉ににっこり笑顔も♡

まずは1枚の板に2本の長い木片をボンドで接着し、左右をガード。板の端に合わせて、はみ出さないように真っ直ぐ貼り付けるのはなかなか難しく、取ったり付いたりしているうちにボンドが乾いてしまう子も。ちょっとしたズレも気になる子は、板のギリギリまで顔を近づけて貼っていました。

そして、ゴール作り。大小、長短、太さが異なる様々な木片を組み合わせ、オリジナルゴールを自分たちで考えました。ボードの上に木片を置き、試行錯誤。「ママのゴールは小さくして、ぼくのゴールは大きくする」という子もいれば、「どっちも同じにしたよ」という子も。ゴールの穴を2ヶ所作るために木片の長さを調節したり、気に入った木片を全部使うと長くなりすぎてゴールが作れず、どの木片を諦めようかと悩んだり。年長さんたちの『試す→考える→ひらめく』姿に、これまでの経験の積み重ねと成長を感じ、嬉しかったです。



☆スマッシャー作りは悪戦苦闘☆

玉を打つためのスマッシャー。自分の分と家族の分と2つ作りました。小さな木片と中くらいの木片を組み合わせたの釘打ち。ボンドは付けず、手で押さえて打つということに挑戦してみましたが、指先にしっかり力を入れて押さえておかないと、木は動かし、釘は曲がるし、とーっても大変!! たった4本の釘打ちでしたが、「せんせー、また曲がったあ〜」「もう疲れた〜」「できな〜い」とあちらこちらから声が聞こえてきました。でも、時間がかかっても自分の力で仕上げた子どもたち。ちょっと難しいことも最後まで諦めずにやり遂げようとする心の強さが垣間見れました。穴がたくさん開いているスマッシャーは、子ども達の葛藤と達成の証です。

☆白熱の戦い☆



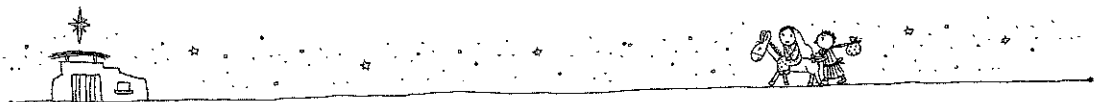
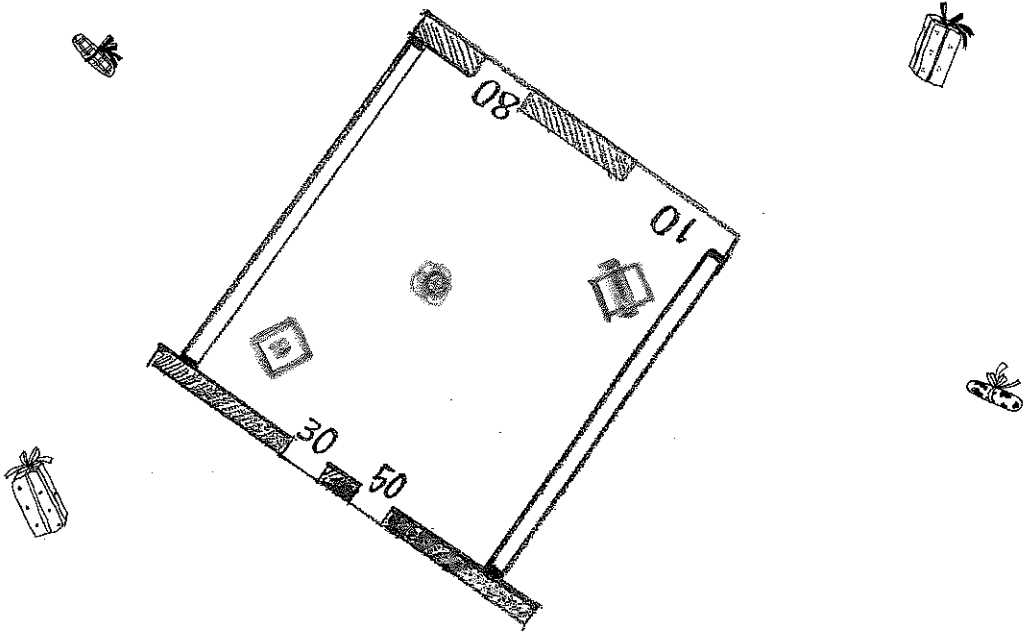
完成したボードゲームを使って、みんなで遊んでみよう!と、2人ペアになって対戦をしました。アルミホイルを丸めて玉を作り、いざ対決!!先に玉がゴールに入った方が勝ちです。

お互いのスマッシャーで玉を挟み、一進一退の攻防を繰り返しているペアもいれば、力任せに玉を打ってボードから飛び出し、クラスのロッカーの下に入ってしまった玉を必死になって探すペアも。ゴールの大きさによって「ここは100点」「こっちは10点」と配点を決めている子もいました。

ボードゲームのネーミングは、子ども達に考えてもらいました。「テニススマッシュゲーム」「プレイッシャー」「ボールスケート」などなど、たくさんの候補が上がった中から多数決で決まった名前は、『ボールスケート』です。子ども達の中には、決定した名前ではなく「絶対に自分が選んだ名前がいい」という子もいましたので、お家でプレゼントの名前をぜひ聞いてみてください。

子どもたちは、自分たちが作ったプレゼントでおうちの方と一緒に遊ぶことをとても楽しみにしています。ゴールの配点を一緒に相談して決めてみたり、アルミホイルで大きさの異なる玉を作って玉の数を増やしたり。お家にあるものでボードの中央にトンネルなどを作ってアレンジするのも楽しいかもしれません。長い冬休み、ぜひたくさん遊んでいただけたら嬉しいです。

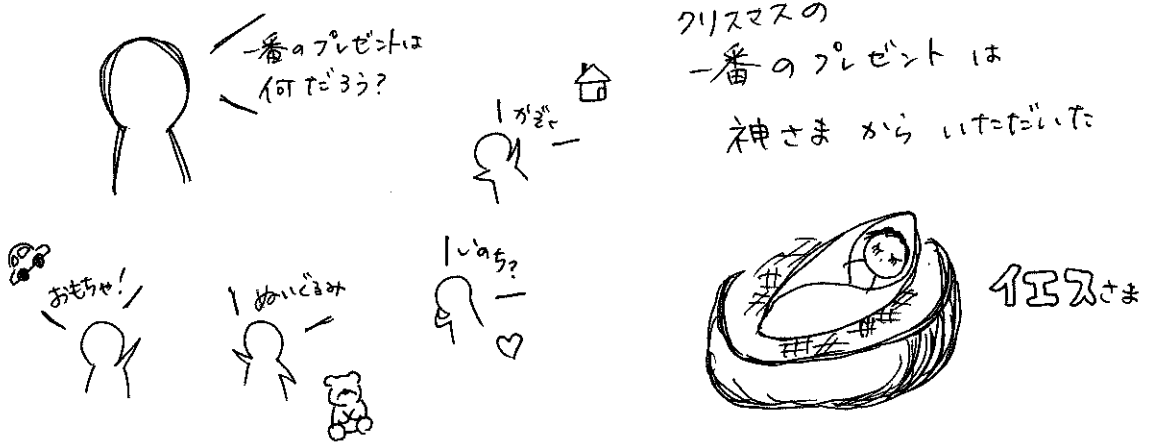
(AKI & Rina)



年中 あっまり

—プレゼントづくりの様子—

おうちの方へのプレゼントを作る前に、年中さんに聞いてみました…



わたしたちは、クリスマスに神さまから一番大事な「イエスさま」というプレゼントをいただいています。そのよろこびを自分の大好きな人たちに分けてあげたいという思いから、おうちの方々にもプレゼントを作ろう!という話をしました。その中でこれまでの経験を活かしたり、新しいことにも挑戦していきたいという思いで…

【本立て】を作りました!

やすりがけ

家族の日のプレゼントに続き、2回目のやすりがけでした。前回の経験を通して、“ザラザラをツルツルにするんだ”“角だけじゃなくて長いところ(辺)もやらなきゃ”と学んだようです。今回はやすりをかけ始めてすぐに「できたー!」と持ってきていた子どもたちも、自分で板の触り心地を確かめながら根気よく取り組む姿がありました。

釘打ち

少し難しいことへの挑戦ということで…釘打ちに挑戦! 本立ての裏の木片に2本の釘を打ちました。はじめは力の入れ方が分からず、なかなか釘が入っていかなかったり、釘を支える手を早く離して釘が斜めになったりしました。保育者と一緒になづちを持って打つうちに、だんだん力の入れ方がわかってきて、力強い音を響かせていました。釘が曲がると、かなづちや釘抜きを使

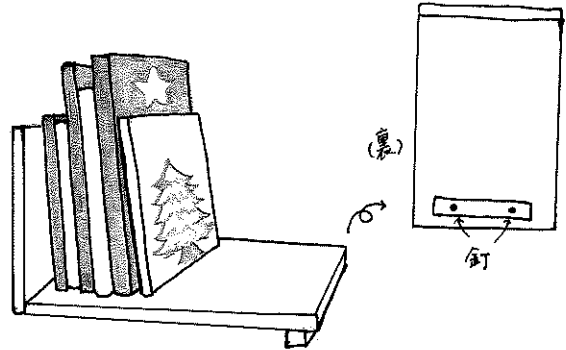
って、自分の力でどうにかまっすぐにしようと試行錯誤する姿がありました。

2本の釘の周りには、力強く打ち込んだ跡や釘抜きで試行錯誤した跡、曲がってしまっただり直した跡など、年中さんの挑戦の跡が残っています。

家族のおすすめ絵本

お気に入りの絵本

これから読みたい絵本などを立てて
たくさん使ってね!



🔔カード

繰り返しの経験で、○△□を使ってカードを作り、サインペンで絵を描きました。



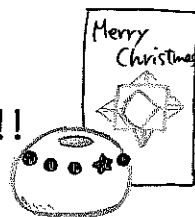
子どもたちなりにクリスマス、冬のイメージを一枚の紙に表現しています。また、聖句の印刷された紙も一人一枚、思い思いの場所に貼っています。一つの形からイメージを膨らませていく子、全体の構想を考えながら作っていく子、それぞれの思いがこもったカードが出来あがりました!



年少あつまり

年少さんからのクリスマスプレゼントは、

ペン立て & カード です!!



☆プレゼントってあげたこと、ある? ☆

年少さんたちに「プレゼントってもらったことある? その時って、どんな気持ち?」と聞いてみました。「嬉しい気持ち」「何が入ってるかなってドキドキする」「ワクワクする」と様々な答えが返ってきました。「じゃあ……、プレゼントってあげたこと、ある?」と聞いてみました。その質問には、ほとんどの子が「ない」と答えていました。

「実は、プレゼントって、渡すときもドキドキするし、ワクワクするって知ってた?」

「えー!」「そうなの?」

「喜んでくれるかなってドキドキするし、プレゼントをもらってどんな表情してくれるかなってワクワクするの」

「本当に?」「あげてみたいー!」

「じゃあ、皆が大好きなおうちの人にプレゼントを用意してみない?」

「するー!!」

年少さんにはハレルヤやあつまりでの聖書のお話を通して、クリスマスがイエスさまの誕生日であること、イエスさまは神様からのプレゼントであることを伝えてきました。そして、周りの人を嬉しい気持ちにさせるプレゼントを、今度は自分でも送ってみようということで、プレゼント作りが始まりました。



☆折り紙のカード☆

二学期の年少あつまりでは、紙飛行機や切り紙などを通して折り紙を行ってきました。角と角をしっかりと合わせることや、指でアイロンをかけるように折り目をつけることは、今後折っていくであろう全ての折り紙の基本であると同時に、指先を動かすことで手先の器用さにも繋がっていきます。はじめは「できない」「難しそう……」と少し後ろ向きだった子どもたちも、あつまりの中や遊びの中で繰り返し行う中で自信がついてきたようです。

上手になった折り紙をおうちの人たちにプレゼントしよう!と、今年のクリスマスカードは折り紙にチャレンジしました。

保育者の見本を見てから、今度は自分の手元で同じように折っていく……大人にとっては簡単なことですが、年少さんにとっては難しいのです。でも、あつまりの中で繰り返し折り

紙を楽しんできた子どもたちは、バッチリ! 時にわからないところがあったても、「どうするの?」と周りに聞きながら折ることができました。「『こんな折れるのー!?』って驚いちゃうかな♪」ともらった時のおうちの方の様子を想像しながら楽しんで折りました。

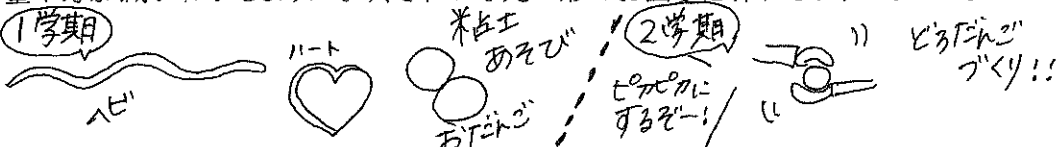
裏にはサインペンで思い思いに絵が描いてあります。そちらも合わせてご覧ください。

☆紙粘土のペン立て☆

1学期から年少のあつまりのコーナー遊びとして大人気だったのが、粘土です!

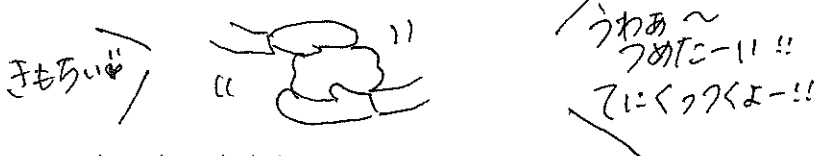
型抜きをしたり、細くしてへびを作ったり、丸めてお団子にしたり・・・思い思いに粘土遊びを楽しんでいました。「これとおきたい!!」というくらい、作った作品に思い入れがある子も♪

2学期になり、外遊びで泥団子づくりに挑戦している子ども達がたくさんいました。はじめは上手に丸めることができず、苦戦していた子たちも、繰り返し挑戦することで水分量や力加減がわかるようになり、きれいな丸い形のお団子を作れるようになってきました!

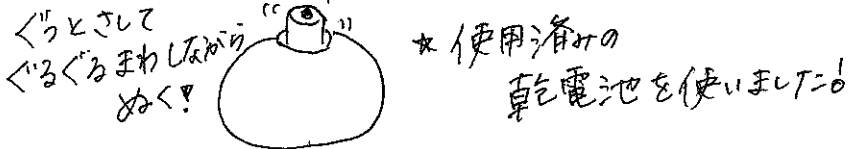


そんな粘土遊びが好きで、お団子づくりに挑戦している年少さんなので、プレゼントは紙粘土を丸めて作るペン立てにしました!

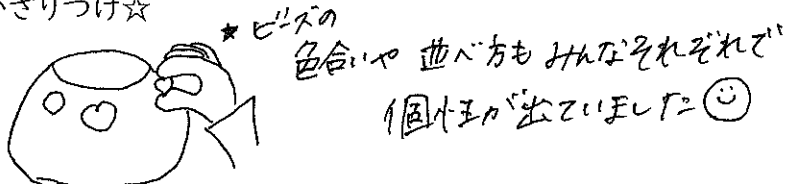
① まずは紙粘土をこねこね～ころころ～



② 真ん中に穴をあけて...



③ ビーズでかざりつけ☆



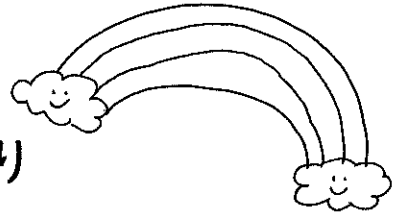
④ 完成!!



鉛筆やペン、印鑑を立ててぜひ使ってください☆

(ゆか、あゆみ)

にじぐみさんのプレゼントは…



クリスマスツリーの壁飾り

& ひつじのクリスマスカード



最初は「クリスマスって知ってる?」と尋ねると「サンタさんがくる!」「プレゼントもらえるの♪」と答えていたにじぐみさん。クリスマスのお話を繰り返し伝えていくうちに「クリスマスはどんな日だと思う?」と尋ねると「イエスさまのお誕生日~!」と自信満々に答えてくれるようになりました。

「神様はわたしたちにイエス様をプレゼントしてくださったんだよ。みんなはおうちの人にプレゼントもらったことあるかな?」と聞くと「あるよー♪」「車もらった!」と教えてくれました。

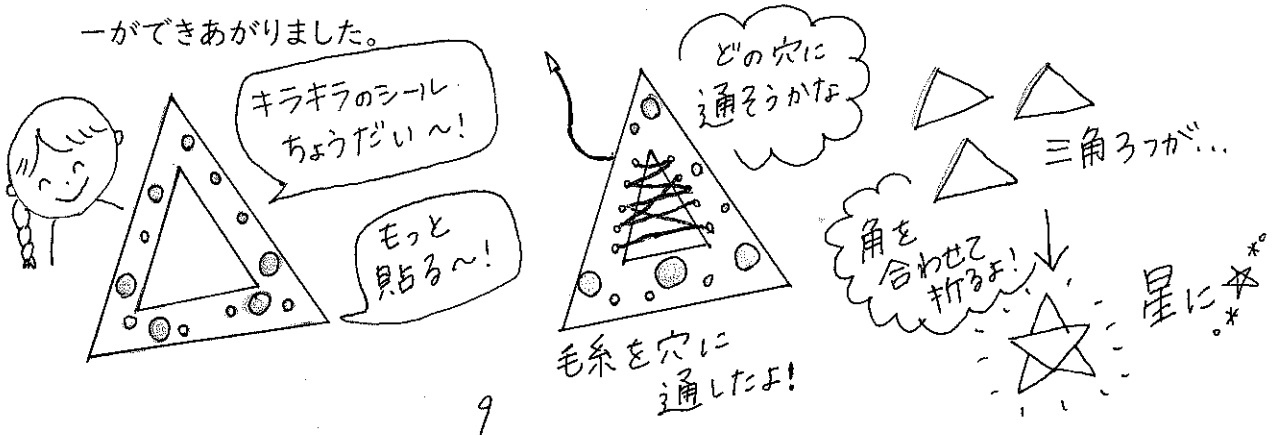
次に「プレゼントをもらうとどんな気持ちかな?」と聞くと「うれしい!!!」「うれしかったー♪」と自分たちの経験を思い出しながらニコニコの笑顔で教えてくれました。

そこで「おうちの人にもプレゼントを作ろう!」と話す「いいねえ!」と目を輝かせていました。

「おうちの人をびっくりさせたいから、渡す時まで《ひ・み・つ》にしようね!」と子どもたちと約束をして作りましたが、そのお約束は守れたかな?

☆クリスマスツリーの壁飾り☆

ツリーの型紙にシールを貼って、真ん中にはひも通しをしました。シールを貼るのは、毎日のこひつじノートのおかげかおてのもの。小さな穴にも、器用に毛糸を通すことができました。そして、ツリーのとっぺんには折り紙で作った星を飾りました。折り紙も上手になってきたにじぐみさん。星は折り紙を3枚三角に折って組み合わせて作っています。シールの貼り方やひもの通し方に個性が出ていて、とても素敵なツリーができあがりました。

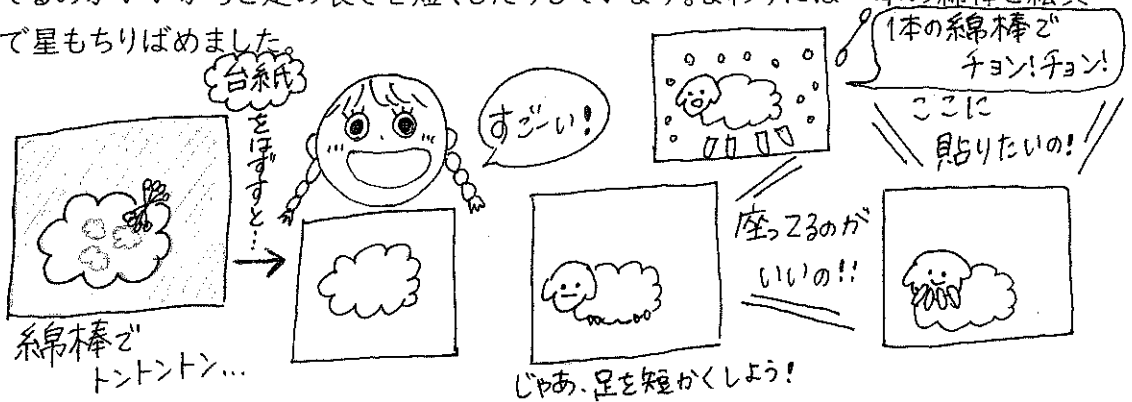


☆ひつじのクリスマスカード☆

一番初めに、羊飼いと共にイエス様の誕生をお祝いに、馬小屋にやって来たひつじをクリスマスカードにしました。裏には、それにちなんだ聖句と、切り紙を飾っています。絵の具の経験を積んできたにじぐみさんですが、今回はひつじの体を表現するために、初めてステンシルに挑戦しました。

綿棒を5本ゴムでまとめたものを使ってトントントン…根気よくステンシルできました。台紙を外すと形通りに模様ができていて大喜びでした♪

ひつじの顔はサインペンを使って描きました。ひつじの足の付け方は子どもたちそれぞれこだわりがあるようで、顔から足がでていたり、体から少し離れていたり、座ってるのがいいからと足の長さを短くしたりしています。まわりには一本の綿棒と絵具で星もちりばめました。



子どもたちのこれまでの経験のつまった素敵なプレゼントです。おうちのよく見える場所に飾って、クリスマスの喜びをご家族で迎えてもらえたらと思います。

